

市内初！超党派の議会報告



共産党市議団 5 名、草の根市民クラブ朝木直子市議、立憲民主党藤田まさみ市議の 7 名による東村山市議会でも初めてとなる超党派の議会報告会を開催しました。

民主主義であれば意見が違ふのは当たり前なのに、今の議会の運営は、大会派の意見で進めてしまう事、少数会派が意見を言えない事が多すぎます。民主的な運営に議会を変えていくためには、会派による立場の違いを超えて協力することが必要です。

議会報告会の参加者からは「素晴らしい取り組み」「これからも参加したい」と歓迎するコメントをたくさん頂きました。次回の報告会は、10月18日を予定しています。ぜひご参加下さい。

SPECIAL THANKS

議会基本条例の検証～アンケートに寄せられた市民コメントに感激

6月議会の一般質問では、陳情審査と重なるという東村山市議会独自の決まりによって質問項目が削除され、私も質問時間の冒頭で、議会ルールの変更を求めて意見表明しました。

問題の条例に対する市民アンケートを募っていましたが、その中で「議員の質問権をしばるな」「陳情と重なっても議員に質問をさせて」と、市民の皆さんがコメントを寄せて下さり、感激しました。私達にはこんなに仲間がいる！と励まされました。皆さん、ありがとうございました。

ところが、9月議会でもこのルールの見直しは進まず、PCR検査センターに関する質問ができないことに。でも、連帯して下さる市民の皆さんがついています。あきらめずにがんばります。

対政府交渉 with 宮本徹

宮本徹事務所のコーディネートで20区市議の対政府交渉に参加しました。直接市民の声を届ける貴重な機会です。私は以下の要望を伝えました。

- 児童クラブの職員加配
- 地域公共交通への公的支援
- 転落事故が相次ぐ駅のホームドアの推進
「欄干のない橋」の早急な改善
- 持続化給付金の再支給・要件見直し

「一回きりでは困る。家賃など固定費も継続してかかる」の声。休業補償は、感染拡大防止目的であり個人の問題ではない。5割減収の要件は2割減でも深刻。

皆さんの声は、市議会だけでなく、宮本徹衆議院議員・尾崎あや子都議会議員を通じて様々な形で伝えていきます。

くらしの中でお気づきのことがありましたら、是非教えてください。皆さんの声が政治を変える力になります。



9月市議会の予定

8月28日

所信表明・議案審査、委員会付託など

9月1日～3日

一般質問（2日目に質問予定です）

9月7日～11日 委員会

9月15日～18日 2019年度決算特別委員会

9月29日 委員長報告・議案採決

浅見みどりの活動を紹介しています。

東村山民報

2020年 9月号外

東村山民報社 ■ 東村山市美住町1-2-5 小松きょう子

しんぶん赤旗(月額3497円) しんぶん赤旗日曜版(月額930円)市民の声でつくるメディア。ぜひ購読ください。